

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

大学評価・情報シリーズ20 (通算450回)

2009年12月19日(土)

マスメディアとの“対話”とは――

戦略的情報公開と“社会評価”の進化Ⅱ

～中教審の「教学・経営情報の公開促進」の審議を踏まえて～

- ※ [基調講義] 報道する・取材される難しさ／広報担当の条件／記者会見ノウハウ
- ※ [パネル討論] 社会・企業・高校・保護者・学生が“知りたい”こと
- ※ [懇談交流パーティ] 教育ジャーナリストの“本音”との交流

● 講師 & パネリスト陣 ●

小林 哲夫 氏 / 教育ジャーナリスト、朝日新聞出版『大学ランキング』編集統括
 山上浩二郎 氏 / 朝日新聞編集委員
 松本 美奈 氏 / 読売新聞東京本社編集局生活情報部記者
 山内 太地 氏 / 大学研究者・フリージャーナリスト

2009年12月19日(土) 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2009年12月19日(土) 13:00～17:00
 会場: 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)
 千代田区神田駿河台3-11-5
 03(3292)3111

アクセス: JR「お茶の水」駅徒歩3分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1出口 徒歩3分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代・パーティ費込) 40,000円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声CD送付) 38,000円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆FD・SD及びBD研修の本格化に伴い、2007年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

大学評価・情報シリーズ20

2009年 月 日

戦略的情報公開と“社会評価”の進化Ⅱ

当日参加

メディア参加

(□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

〈通信欄〉支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

基調講義

<p>13:00 ～ 14:00</p>	<p><input type="checkbox"/> 広報活動の方法に間違いはないか ～報道する難しさ、取材される難しさ～</p> <p style="text-align: right;">教育ジャーナリスト 小林 哲夫</p> <p>1. 新聞、雑誌、テレビが取り上げる理由 (1) 学生や教員の活躍＝ニュースバリューの判断 (2) プレスリリースのうまさ、パンフレットの工夫 (3) 広報担当者の人間性とセンス、メディアとのパイプ</p> <p>2. 問い合わせに対応できない広報セクション (1) 大学の基礎知識、基本データの欠如。大学史や高等教育政策の無知 (2) 公表・非公表情報の意志統一のなさ (3) 職能を考えると性格的に不向きな広報担当者</p> <p>3. 事故や事件（殺人＝加害&被害、大麻）に的確、迅速に対応する方法 (1) 記者会見での情報の出し方、説明の方法 (2) 記者からの情報収集 (3) リスクマネジメントにおける責任の明確化</p>
------------------------------	--

パネル討論

<p>14:10 ～ 15:50</p>	<p><input type="checkbox"/> 戦略的情報公開と“社会評価”の進化 ～社会・企業・高校・保護者・学生が知りたいこととは～</p> <p style="text-align: right;">〈司会〉 青野友太郎（地域科学研究会 高等教育情報センター）</p> <p>〈パネリスト〉</p> <p>◇ 山上浩二郎／朝日新聞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生のその後 ○ 教養と職業と専門と ○ 教学・経営情報の公開 ○ 研究と教育と地域貢献・社会参加 <p>◇ 松本 美奈／読売新聞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 不信の全入時代 ○ マイナスは栄養ドリンク ○ “市場”を育てる ○ 友愛の全入時代へ <p>◇ 山内 太地／大学研究者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業が知りたいのは「一緒に働きたい新卒者を作っているか」 ○ 高校教員が知りたいのは「ウチの生徒が成長したかどうか」 ○ 保護者が知りたいのは「安定した就職ができるかどうか」 ○ 社会が求めているのは、以上3つの総合的な情報 <p>◇ 小林 哲夫／教育ジャーナリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育行政、他大学の情報収集 ○ パンフレット、Webサイトの活用 ○ 学生とのつきあい ○ 教員との連携 ○ 高校とのパイプ
<p>16:00 ～ 17:00</p>	<p><input type="checkbox"/> [懇談交流パーティ] 教育ジャーナリストの“本音”との交流 ～山上・松本・山内・小林の各氏を囲んで～</p>